



× シブヤ科だより

★6年生「安全な社会をつくるための自動車の在り方を考えよう」特集★

6年生は、「安全な社会をつくるための自動車の在り方を考えよう」という学習を進めています。

渋谷の交通事故の多さから、交通事故を減らすために自動車に搭載できそうな機能を考えます。その過程でプログラミングにより乗用車を模したプログラミング教材を動かし、より多面的・多角的に、そして現実的に自動車について考えます。そして、さらに発展的で実現可能な自動車のアイデアを、企業「BOSCH (ボッシュ)」に提案します。

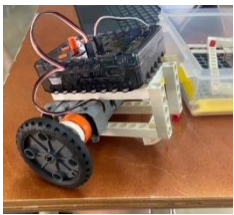
はじめに、渋谷区の交通事情や交通事故の多さについて調べました。交通事故の詳細や、他区との比較について詳しく知りたいという感想をもち、調べたことをお互いに発表・情報共有しました。

BOSCH は、世界のトップクラスの自動車機器サプライヤーとして国内はもとより、グローバルな市場への対応をサポートしている会社です。2023年で112周年を迎えました。

渋谷駅近くに会社があることと、6年生の学習で自動車に関する学習を進めるにあたり、最適なアドバイスがいただけそうだと考え、本校の教育活動に御協力いただくことになりました。



次に、「S4A」というアプリと乗用車を模したプログラミング教材を使って、実際に自動車を動かそうと試みました。はじめは両輪を動かすだけでも一筋縄では行かず、動かせたとしても違う方向に動いてしまって上手く走行しない等かなり苦戦した様子でしたが、プログラムを組み替え試行錯誤していくうちに次第にコツを掴んでいきました。道順に沿って走行させたり、センサーを使ってトンネルに車がぶつからないように走行させたりしました。活動を通して、自動車のもつ課題について考え、事故を減らす自動車の新しい機能について考えました。どんな課題や改善策を考えたのかは、次号でお伝えします。



3月8日(水)にBOSCHへ校外学習に出かけ、企業の方々にお話を伺いながら学習を深めていく予定です。

学習について、御家庭でも子供たちから聞いてみてください。

